

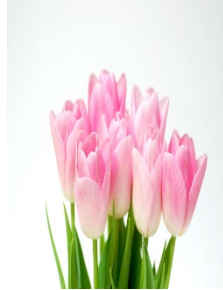
けあとも

発行 株式会社
ケアサービスとも
平成 30 年 5 月

会社設立のころ

先月は久光クリニックの久光先生に寄稿していただいた内容をご紹介させていただきました。今後はこれまでに寄せられた原稿をもとに毎月連載形式で会社の歴史を紹介していきます。

内容について筆者の記憶違い等あるかもしれませんが、疑問点や指摘事項のご連絡をいただければ、事実確認の上訂正させていただきます。まずは有限会社設立からスタートします。



「ケアサービスとも有限会社設立」

平成17年春それまで足立区内の病院で看護師・ケアマネージャーとして勤務していた海老根久美子が、区内の竹ノ塚団地自治会メンバーの方々から「NPO法人を立ち上げて団地周辺の高齢者の方の介護・児童の保育の事業を行い

たい」
との協力要請を受けて同法人の理事兼ケアマネージャーとして参加し活動をする事になりました。

当時NPO法人の介護保険事業として居宅介護支援事業と訪問介護事業を行うにあたって2名のケアマネと3名のヘルパーさんでスタートしたものの、ひとりのケアマネはすぐにやめてしまい、ケアマネ1名、ヘルパー3名でスタートしましたが、介護保険請求で入る収入がNPO法人の役員の報酬に回ってしまい実際に現場で働くケアマネやヘルパーさんに対する給与の支払いに不具合が生じ、そうした現実に疑問を抱き、自分たちで会社を立ち上げて事業をしたらどうだろうかという話が現場で働くケアマネやヘルパーから出てきました。

そうした相談に海老根清剛も加わり、海老根久美子、M・Iさん（介護職員）の3名で出資して会社を作ろうという話がまとまりました。

そして「ケアサービスとも有限会社」を立ち上げました。法人として登記するためにまず社名が必要、ということになり、介護会社だからケアサービスだろうという事と法人の形態が有
限会社であることで、ケアサービス有限会社というところまでは出たものの、何か他社との差別化のために必要なのではないかと

で、海老根家の次男で特別支援学校に通っていた海老根友の名前を本人の承諾を得て（？）使わせてもらって「ケアサービスとも有限会社」としました。法人名も決まり登記も完了し、次は東京都に介護保険事業申請の段階になり都庁へ足を運び、担当者の指摘を真摯に聞き入れて修正し、数回の都庁通いで申請が受理され業務がスタートしました。

当時の法人所在地は現在の「在宅医療ケアとも」の場所である足立区南花畑4の35の10の建物の2階を事務所として使い、ケアマネが依頼を受けたご利用者を訪問介護の職員が訪問するという形で3名のヘルパーと1名のケアマネでのスタートでした。

その当時から今に至るまで訪問介護の職員さんの入れ替わりもありましたが、その当時からずっと在籍されている方もおられます。今後はその方々のご紹介もさせて頂く予定です。



GOODJOB賞

4月8日付で良さんの家主任の宮田さんから職員東駿佑君のGOODJOB賞の推薦がありました。

内容は新規に利用が始まったご利用者が、利用者情報が少ない中で入浴について「なんでイヤがつているのに無理に入れようとするの？もう来ないわよ！」とおっしゃる方に対してどうしたら入浴をしていただけるか職員みなで悩んでいた時期に、東君が夜勤の時に根気強く、やさしく、丁寧に対応し、いろいろなアプローチをしてくれて、結果入浴していただくことが出来ましたという事でした。

会社としては社内の「いいね(GOODJOB)」をどんどん紹介していきたいと考えていますので今回からは職員の「いいね」を評価して推薦してくれた方の代表として、良さんの家主任の宮田さんにもGOODJOB賞を送ります。

事業所からの推薦を歓迎しますのでどんどん送ってください。用紙は各事業所にあります。



GOODJOB賞推薦 海老根清剛

あおいの家「城野照久」さん

ご本人の写真のバックに映っている絵は城野さんが描いたものです。ご利用者様や職員の似顔絵で表情が上手に描かれています。

壁一面のイラストに思わず見入ってしまいました。城野さんは社歴も長く訪問介護の時代からの職員さんですが、こんな特技があるとは知りませんでした。あおいの家に行ったら是非立ち寄ってみてください。心和む空間になっています。すばらしいイラストを描いた城野さんにGOODJOB賞を送ります。

壁のイラストの写真が反射で見づらいですが現場を見れば納得、この方というのが解ります



GOODJOB賞 東君からの続報

4月からのご利用者で入浴を拒否されているご利用者に東君が夜勤の際に丁寧に対応して入

浴していただけたということとその内容について東君から聞いてみました。

まず、入浴という言葉は言わないようにして昔話をしながらその方との共通の話題を探っていたとのこと。その際に「恵比寿」に住んでいたことがあるとの話に共感して詳しく聞いた。りする中で、人前での入浴という言葉に羞恥心を覚えていらつしやるらしいことも分かって。東君自身が「自分がお風呂に入りたいと思っっているんだ」という話をしたら「そうね、お風呂に入らないと体もかゆくなるものね」とおっしゃったのを受けて、「〇〇さんは3日くらいお風呂に入っていないんじゃないですか」と問いかけると「そういえば入ってないな」「それじゃ今度はお風呂に入りましょう」とこんな会話の中から入浴に結び付いたという実践でした。いつもこのようにうまくできるとは限りませんが、ご利用者との関係性を良くすることが、その後の介護をスムーズにする好事例です。



編集後記

四月は新入社員季節です。学校を卒業して始め社会に出る若者が当社にも入社しました。「金内瑞樹」さんです。次回は金内さんの紹介をする予定です。